

第27回保存フォーラム

デジタル時代の資料保存

—英国ボドリアン図書館と一橋大学社会科学古典資料センターの事例から—

平成28年12月7日（水）

13:30～17:00（受付13:00～）

国立国会図書館 東京本館 新館3F 大会議室

参加費無料・定員80名



◆ 講演 ※英語・逐次通訳付

ヴァージニア・リヤドブイサン氏 Ms. Virginia M. Lladó-Buisán

オックスフォード大学 ボドリアン図書館 コンサベーション&コレクションケア部門長
1990年代から紙資料のコンサバター（保存修復家）として、英国図書館、メトロポリタン美術館、グッゲンハイム美術館、国立カタロニア美術館、国立海洋博物館等で勤務。
2010年1月からボドリアン図書館の書籍と紙資料のコンサベーションチームの長として勤務し、2012年3月から現職。

◆ 事例報告

床井啓太郎氏

一橋大学社会科学古典資料センター 専門助手
一橋大学社会科学古典資料センター所蔵貴重資料の保存を担当。
研究分野は西洋史、書誌学。
2007年10月から現職。



高橋幸伸

国立国会図書館 収集書誌部資料保存課 保存企画係長

近年、図書館がデジタル化を進める上で、原資料の保存との両立が大きな問題になっています。欧米の図書館等では、原資料の保存業務とデジタル化業務を統合し、計画的かつ効率的に実施する試みが始まっており、これまで紙の保存を主として担当してきたコンサバター（保存修復家）が積極的に関与するようになってきています。第27回保存フォーラムでは、「デジタル時代の資料保存 -英国ボドリアン図書館と一橋大学社会科学古典資料センターの事例から-」をテーマに、英国のコンサバターによる講演と国内機関の事例から、デジタル化と資料保存について考えます。

◆ 申込方法 平成28年11月18日（金）17:00締切 ※定員に達し次第受付を終了します。

当館ホームページをご覧ください、参加申込みページからお申し込みください。

トップ > 国立国会図書館について > 資料の保存 > 保存協力 >

おもな研修会や講演会のテーマ・記録等 > 第27回保存フォーラム

<http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/preservation/coop/forum27.html>

◆ お問い合わせ先

国立国会図書館 収集書誌部資料保存課

電話：03（3506）5219（直通） メール：hozonka@ndl.go.jp